科目番号			Ļ	39		科目名 滋賀の環境																	
英 文 科 目 名						Environment of Shiga																	
大	大学•短期大学名					びわこ学院											大	大学					
連		糸	z.		先		びわこ学院大学 教務課																
		ሳባ	I			TEL	_ :				074	8-35	5-00	002		FΑ	X	:		074	8-23-	7202	2
担	= 1	<u> </u>	教	[員				佐	々木	和	之			(教	育	福祉	<u> </u>	学部	非常	勤請	師)
実	挤	to the	方		法		対	面授	業)		遠	隔授	業		対	面∙遠	を	併月	Ħ				
教		室	<u> </u>		名		21	02(第6)	講義	室		417	会場				び	わこき	学院大	学		
授		ŧ	斯		間	20	22	年	9	J	月	27	日	(火)	~	202	3	年	1	月	24	日	(火)
						<毎	週	火	曜日	>	1	時	狠∙訁	講時			9	:	00	~	10	:	30
超	過時	の	選え	<u></u> 方	法										抽選								
		評		i 方	ī 法	定	斯]	式	験	(筆		記)					28				%
成	績		価				ポ	_	٢	試	験	(期	末)					48				%
八	小貝		ІЩІ	/]		平:	常	点 (出	席	· 挖	受業	態	度)					0				%
						そ	の	他	(レ	ポー	射) イ	物館	見	学等))					24	i			%
別	途	負	担	費	用		•			なし	_ ر	•			あり	(.	博物	勿館	見学	の観り	覧料・3	交通	費)円
そ	の化	也特	記	,事	項	学タ	卜授	業()	琵琶	湖博	物食	官見:	学)に	は1月」	_旬頃	の土	or E	曜	日に	実施予	定(授	業3	回分)

<講義概要・到達目標>

近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通 じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環 境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、博物館見学なども踏ま えながら、演習も行っていく。

- ① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。
- ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。

<授業スケジュール>

回] 月日			テーマ・キーワード	
1	9	月	27	日	キャンパスで見つける滋賀の自然
2	10	月	4	日	市民活動と環境
3	10	月	11	日	環境学習
4	10	月	18	日	人と環境
5	10	月	25	日	人と自然
6	11	月	8	日	環境の認識
7	11	月	15	日	環境の調べ方
8	11	月	22	日	グリーン購入運動を通じた環境への関わり
9	11	月	29	日	環境をテーマとした学習計画
10	12	月	6	日	滋賀県の生物多様性とその保全
11	12	月	13	日	琵琶湖博物館見学
12	12	月	20	日	学びを誘う学習プログラムの立案
13	1	月	10	日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点
14	1	月	17	日	地域の魅力を調べる「地域調べ」
15	1	月	24		地域調べの記録化と活用
レノ製	선 분의 를	■. 4	**	F 🔨	

【<教科書·参考書>

適宜、プリント・資料を配布する。